

第8回 SGH・さくら塾（社会連携セミナー）

SGH◆学術研究 「機能解剖学的触診技術を基礎とした治療技術」

講師：林典雄先生(中部学院大学教授) 対象：1・2年生希望者

日時：平成26年11月21日(金) 15:50～17:10

機能解剖学の講義を受講し、超音波エコー診断による検査を体験しました！

■ 本日の講師は中部学院大学の林典雄先生(看護リハビリテーション学科教授)。巨人の井端選手等、著名なスポーツ選手の治療もこなす先生です。体に無害な超音波エコーを使った診断をもとに、筋肉や骨の動きを確認しながら、合理的な治療やストレッチの理論を学びました。



生徒の感想

- ・先生の話聞いて思ったのは、話すのが上手いということと、スポーツを続けたいという生徒にたいして、やめることを勧めるのではなく、どうやったら痛くなくなるのかをアドバイスする等、体の構造を素人でもわかるように具体的に教えてくださる人であるということです。肩を見てもらった時、非常に安心するとともにエコーで骨がぶつかっているのを見てストレッチの必要性を痛感しました。
- ・いつも無意識で使っている肩や膝の仕組みを理解できたとともに、時々感じる痛みがどのようにして起きているのかを知る方法もわかり、とても実用的な講座でした。部長として、部員を管理する立場なので今回学んだこと使いケガを減らして充実した部活を作っていきたいです。
- ・同じ関節の病気でも原因が色々あって、その人その人に合った治療法を見つける理学療法士はすごいと思いました。また普段の姿勢がケガにつながったり、パフォーマンスに関わったりするので大切にしていきたいと思いました。